

2006年5月30日

株式会社マルハグループ本社

2006年3月期連結決算概要

中期経営計画(NW21)進捗状況



決算概要

1. 2006年3月期連結経営成績概要

	実績	前年	前年比	当初計画	計画比
売上高	7,193億円	7,472億円	96.3%	7,320億円	98.3%
営業利益	107億円	134億円	79.5%	164億円	65.2%
経常利益	121億円	112億円	107.5%	145億円	83.5%
当期利益	46億円	151億円		63億円	73.0%



決算概要

2. 水産物を取巻く事業環境の変化

1. 世界的に水産物需要が増加
 2. 原油価格高騰により漁獲コスト上昇
 3. 世界の水産物供給量はほぼ一定
 4. 為替の円安による日本への輸入コスト上昇
 5. 日本の食品業界は、コスト上昇・製品市況低迷
- 魚価上昇
買付競争激化

決算概要

3. 営業利益未達要因(当初計画比)

水産セグメント

- 円安による輸入コストアップ
- 海外エビ合弁事業、歴史的不漁等
- 養殖はまち・かんぱちの市況低迷、寄生虫問題等
- その他(原料高等)

35億円

15億円

13億円

4億円

3億円

食品セグメント

- 原料高によるコストアップの销售价格への転嫁の遅れ
- 畜肉の取り扱い減等

23億円

19億円

4億円

その他

1億円

総計

57億円



事業環境の現状と予想

1. 世界の漁業・養殖

(千トン)

	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004
漁業生産量	85,742	91,972	93,887	91,270	91,220	89,112	93,604
養殖業生産量	30,433	33,347	35,440	37,879	40,331	42,610	45,421
総生産量	116,175	125,319	129,327	129,149	131,551	131,722	139,025
食用供給量	93,600	95,400	96,800	99,500	100,700	103,000*	105,000*
(鯉等の淡水魚)	(19,666)	(21,373)	(22,571)	(24,021)	(25,532)	(27,204)	(29,189)
食用海水魚供給量	73,934	74,027	74,229	75,479	75,168	75,796	75,811

FAO: Capture Production/Aquaculture Production

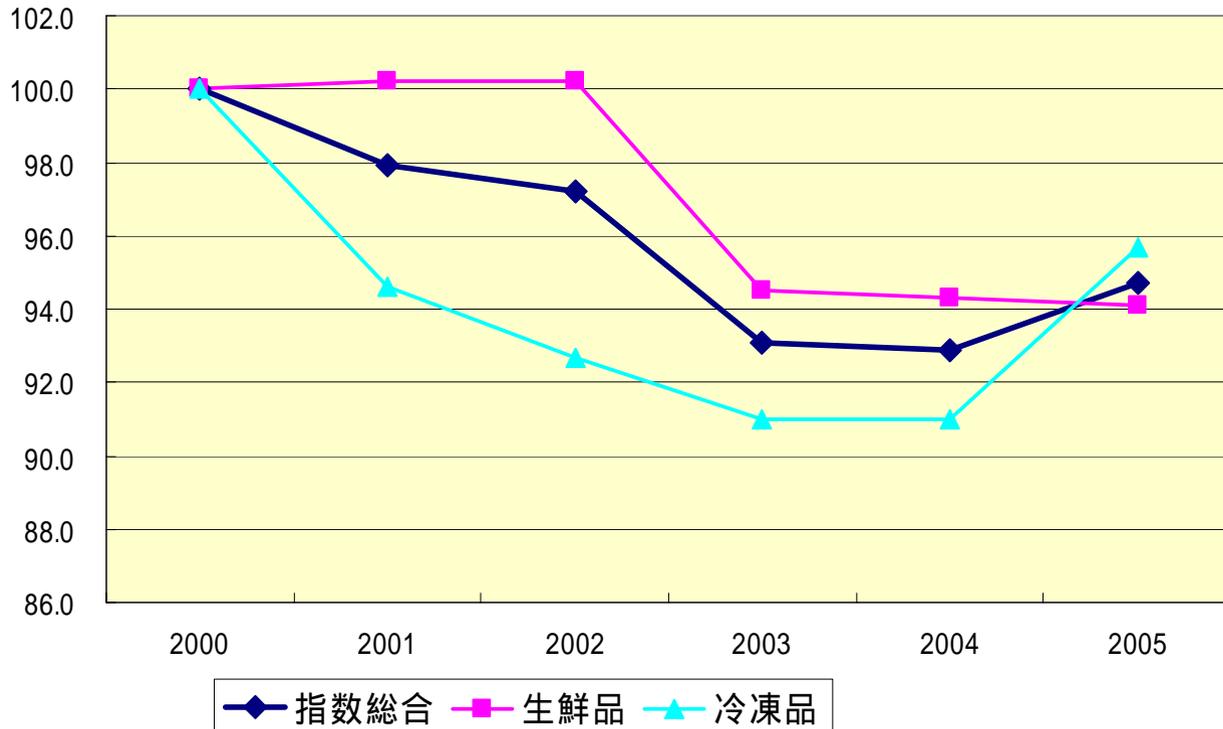
除 海草類・海獣類
* 予測値



事業環境の現状と予想

2. 日本国内水産物消費傾向

消費地水産物卸売価格指数の推移 (10都市中央卸売市場)



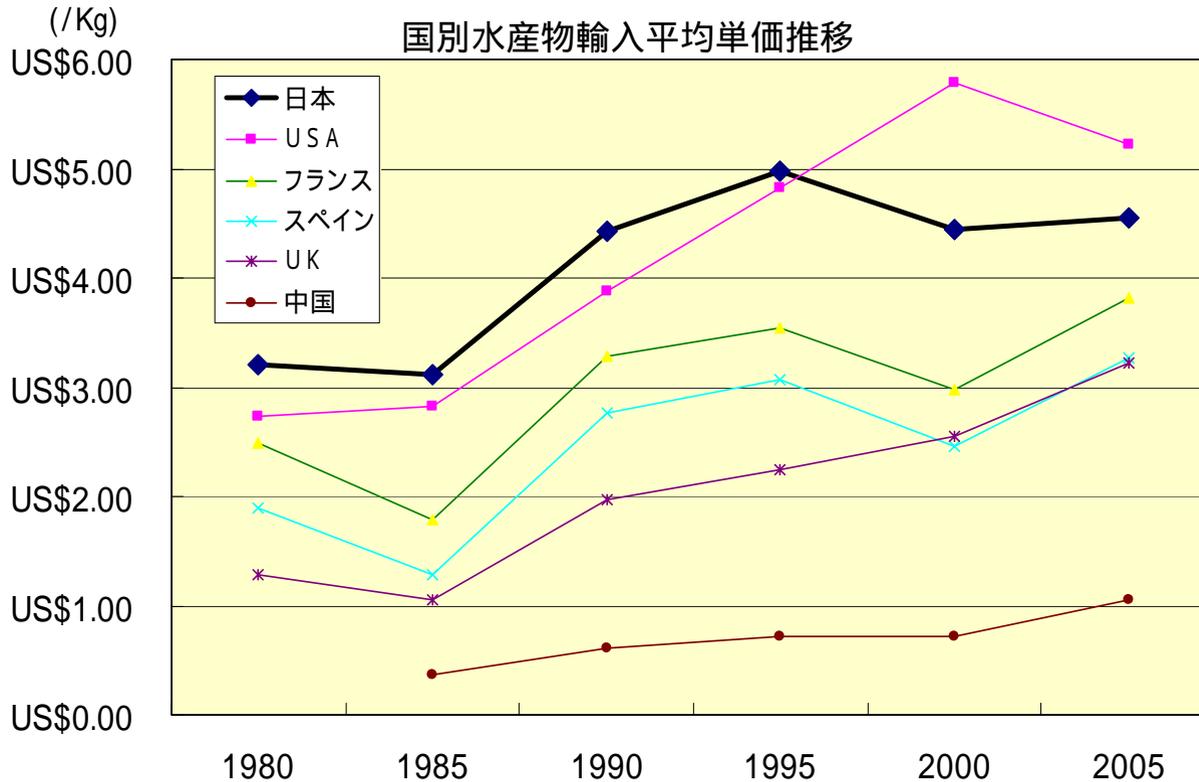
(農林水産統計:農林水産省 2000年を100とした指数)

*** 国内水産市況の下げ止まり**



事業環境の現状と予想

3. 各国の水産物輸入価格は上昇傾向



FAOデータ、日米輸入通関統計から引用
 (注)フランス・スペイン・UK・中国は2004年データを使用

事業環の現状と予想

4.2006年度環境予想

- 動物性蛋白質の安全性不安
- 欧米諸国シーフードブーム
- 中国 インド経済発展



世界的な水産物需要の増加は続く



+ 原油高による漁獲コスト高

世界的魚価高は継続予想



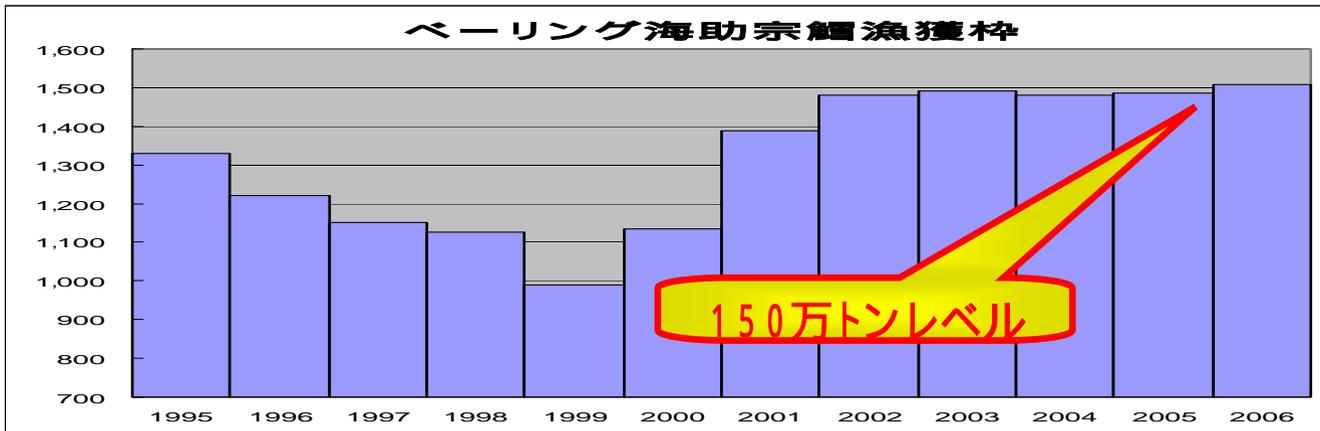
日本の市販価格は対応せざるをえない





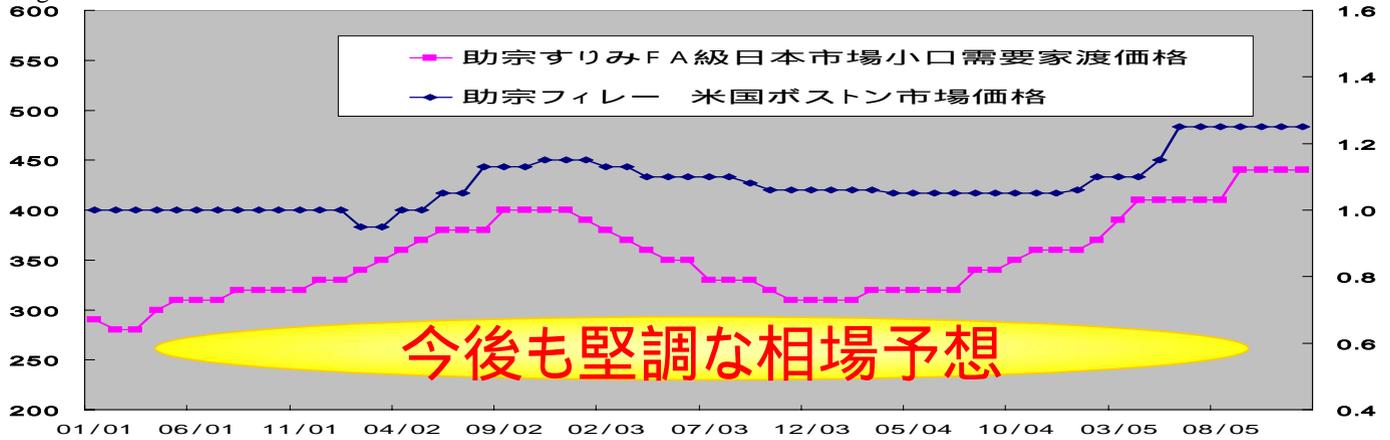
事業環境の現状と予想

5. 2006年度北米事業の予想



すりみFA級

円/Kg





成長戦略への取組み

1. 取組み概要(海外)

海外事業の取組み

- ウェストワード社による助宗フィレーライン増設 (北米ユニット)
- オルカベイ・シーフーズ社(米国)への資本参加 (北米ユニット)
 - 米国での加工・販売を強化
- キングフィッシャーグループ(タイ)による冷凍食品工場新設(アジア・オセアニアユニット)
 - 欧米市場向け販売を強化
- 大連海洋と合併会社設立 (アジア・オセアニアユニット)
 - 中国国内向け缶詰/レトルト生産・販売を強化



成長戦略への取組み

2. 取組み概要(日本国内)

国内事業の強化・拡大

- 北州食品への資本参加(戦略販売ユニット)
- 荷受事業の再編 (荷受けユニット)
 - 北九州魚市場と佐賀魚の合併(2005年11月14日公表)
 - 大阪魚市場グループとの業務提携強化
- 下関食品工場の新設(市販食品ユニット)
- アイシア(株)(ペットフード事業)への資本参加(市販食品ユニット)
- 冷蔵事業再編 (保管・物流ユニット)
 - 冷蔵事業一社体制確立



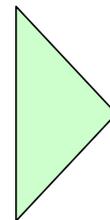
成長戦略への取組み

3. ウェストワード社設備増強

フィレーライン増強 (ウェストワードシーフーズ社 北米ユニット)



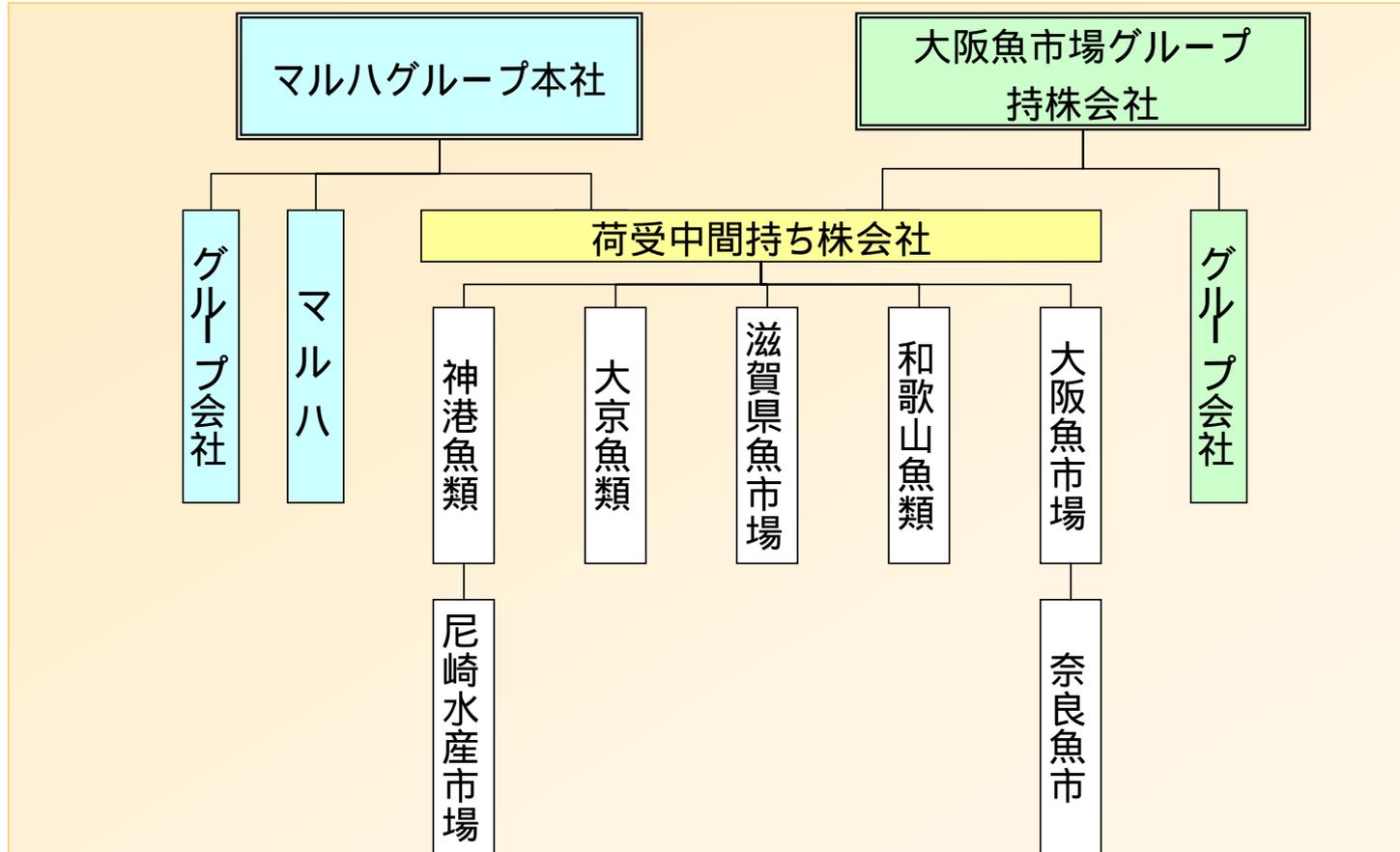
4,700トン
原魚処理能力の
15%



10,000トン
原魚処理能力の
31%

成長戦略への取組み

4. 近畿地区荷受中間持株会社を設立(2007年4月1日)





成長戦略への取組み

5. 北州食品との資本提携

連結子会社化 (戦略販売ユニット)





成長戦略への取組み

6. 国内・海外の生産設備増強

下関食品工場新設 (マルハ(株) 市販食品ユニット)



生産能力:カップゼリー=約8万個/日
レトルト食品=約4万個/日

冷凍食品工場新設 (キングフィッシャー社 アジア・オセアニアユニット)



処理能力

原魚ベース 9,000トン





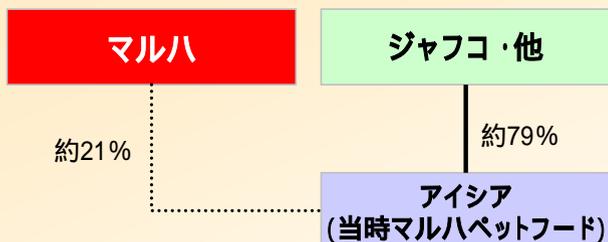
成長戦略への取組み

あいする、しあわせ。



7. ペットフード事業の拡大

アイシア株式会社の株式取得



株式取得の概要

- 2006年4月、ジャフコの運営する投資組合等より、アイシア株式会社株式の約55%を取得し、連結子会社化（従来より21%を保有していたため、計約76%を保有）

2006年4月



ペットフード事業の成長戦略

- 中国を中心とした海外市場への販売強化
- キャットウェットNo.1シェアの拡大と事業領域の拡大
- 健康機能性ペットフードの商品開発・販売の強化

2006年度計画

1. 戦略概要

その他2006年度の戦略

- ・ 北米ユニット中心とした海外戦略の更なる強化
- ・ 荷受け事業再編(ブロック化)の促進
- ・ 市場外流通の強化
- ・ リサーラソーセージ等健康訴求型商品の拡販
- ・ M & A等による新規事業(国内・海外)への参入

2005年度に於ける一過性の問題の解決

- ・ 海外えび事業の収益体質の改善
- ・ 養殖カンパチ寄生虫問題解決
- ・ 為替円安による影響はこれ以上ないと想定



2006年度計画

2. 営業利益の増益要因(2005年度対比)

水産セグメント

- 円安による輸入コストアップ改善
- 海外エビ合弁事業収支改善
- 国内漁業・養殖事業の収支改善
- その他(利益率改善、効率経営等)

40 億円

15 億円
11 億円
4 億円
10 億円

食品セグメント

- 販売価格の値上げ(量目変更等)
- 畜肉の取り扱い増加等
- アイシアへの資本参加
- その他(タイの冷凍工場稼働他)

29 億円

12 億円
4 億円
5 億円
8 億円

その他(保管・物流セグメント、新規M&A等)

19 億円

総計

88 億円

2006年度計画

3. 各戦略セグメントの事業目標

単位：億円

セグメント	2006年度の 営業利益目標
水産セグメント	112
食品セグメント	72
保管物流セグメント	20
その他	28
全社	37
合計	195

2006年5月30日

マルハグループ

2006年3月期連結決算説明



グループ企業の状況

	当 期			前 期			増 減		
	国内	海外	合計	国内	海外	合計	国内	海外	合計
関係会社									
子 会 社	78	33	111	85	37	122	7	4	11
関 連 会 社	25	23	48	24	22	46	1	1	2
関係会社合計	103	56	159	109	59	168	6	3	9
連結の範囲									
親 会 社	1		1	1		1			
連結対象子会社	61	18	79	67	19	86	6	1	7
持分対象子会社		2	2		2	2			
持分対象関連会社	6	5	11	6	4	10		1	1
連結グループ合計	68	25	93	74	25	99	6	0	6



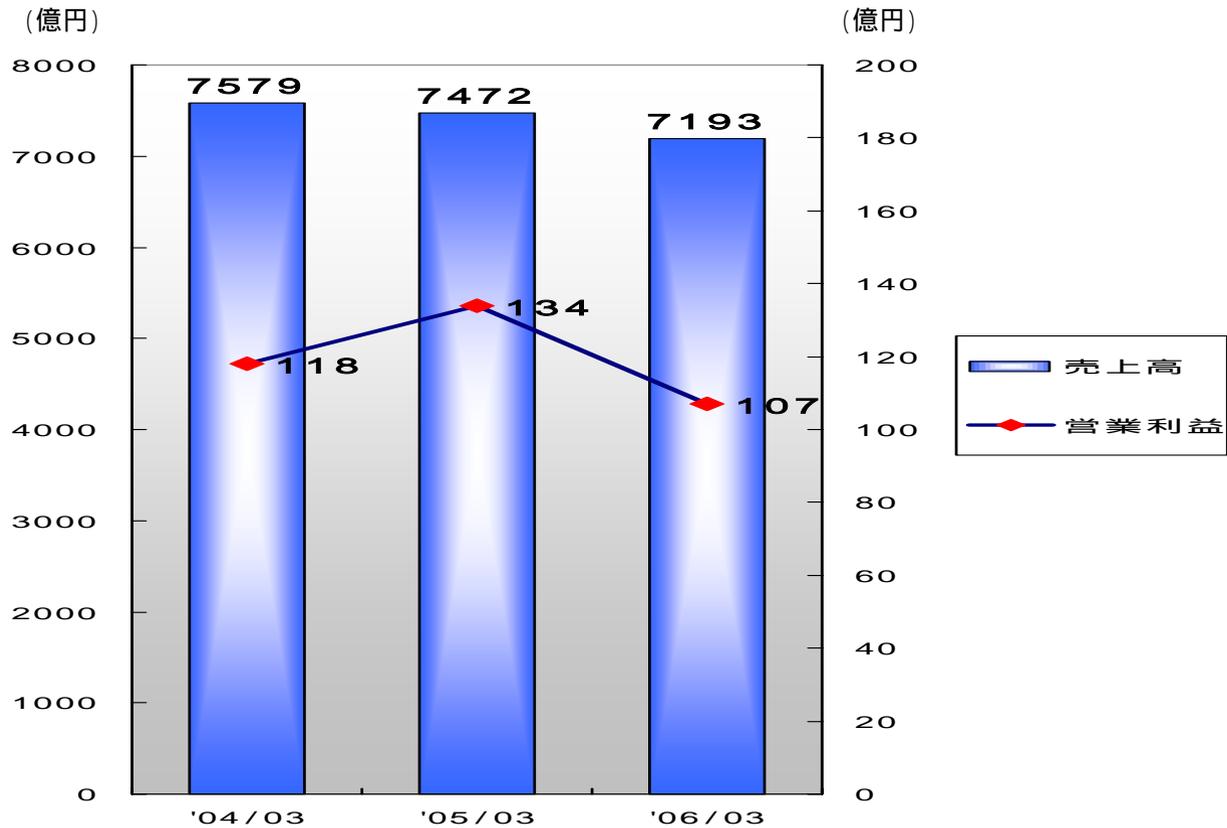
2006年3月期連結損益計算書

単位：百万円

	2006年3月期	売上高比	2005年3月期	売上高比	前期比較
売上高	719,275	100.0%	747,181	100.0%	27,906
売上原価	644,195	89.6%	663,218	88.8%	19,023
売上総利益	75,080	10.4%	83,963	11.2%	8,883
販売費・一般管理費	64,418	9.0%	70,557	9.4%	6,139
営業利益	10,661	1.5%	13,406	1.8%	2,745
営業外収益	6,390	0.9%	3,820	0.5%	2,570
営業外費用	4,967	0.7%	5,989	0.8%	1,022
経常利益	12,084	1.7%	11,237	1.5%	847
特別利益	12,352	1.7%	5,291	0.7%	7,061
特別損失	12,400	1.7%	30,493	4.1%	18,093
税金等調整前当期純利益	12,036	1.7%	13,964	1.9%	26,000
法人税等	6,448	0.9%	1,177	0.2%	5,271
少数株主利益	940	0.1%	1	0.0%	939
当期純利益	4,647	0.6%	15,143	2.0%	19,790



売上高・営業利益推移





特別利益と特別損失について

項 目	06年3月期実績
特別利益	124 億円
■ 投資有価証券売却益	76 億円
■ 貸倒引当金戻入額	33 億円
■ 固定資産売却益	6 億円
■ その他	9 億円
特別損失	124 億円
■ 貸倒引当金繰入額	44 億円
■ 減損損失	23 億円
■ 事業再編整理損失	16 億円
■ 未認識退職給付債務一括償却	9 億円
■ 固定資産処分損	6 億円
■ その他	26 億円



セグメント別売上高明細(前期対比)

単位：億円

	日本		北米		ヨーロッパ		アジア		その他		連結合計	
水産	5,126	12	255	34	32	7			4	0	5,417	53
	5,114		221		25				4		5,364	
食品	1,333	-41					171	25			1,503	-18
	1,374						146				1,521	
保管 物流	153	3									153	3
	150										150	
その他	99	-318			8	0			12	0	119	-318
	417				8				12		437	
連結 合計	6,711	-344	255	34	40	7	171	25	16	0	7,193	-278
	7,055		221		33		146		16		7,471	

上段： 当年 前年対比

下段： 前年





セグメント別営業利益明細(前期対比)

単位：億円

	日本		北米		ヨーロッパ		アジア		その他		消去・全社		連結合計	
水産	55	-18	28	22	0	0			-10	-11			73	-5
	73		6		0				1				78	
食品	33	-14					9	0					42	-14
	47						9						56	
保管 物流	22	7											22	7
	15												15	
その他	9	-6			-3	-1			1	0			7	-7
	15				-2				1				14	
消去 全社									-2	-2	-35	-4	-37	-6
											-31		-31	
連結 合計	119	-32	28	22	-3	-1	9	0	-11	-13	-35	-4	107	-27
	151		6		-2		9		2		-31		134	

上段： 当年 前年対比

下段： 前年





2006年3月期のユニット別実績

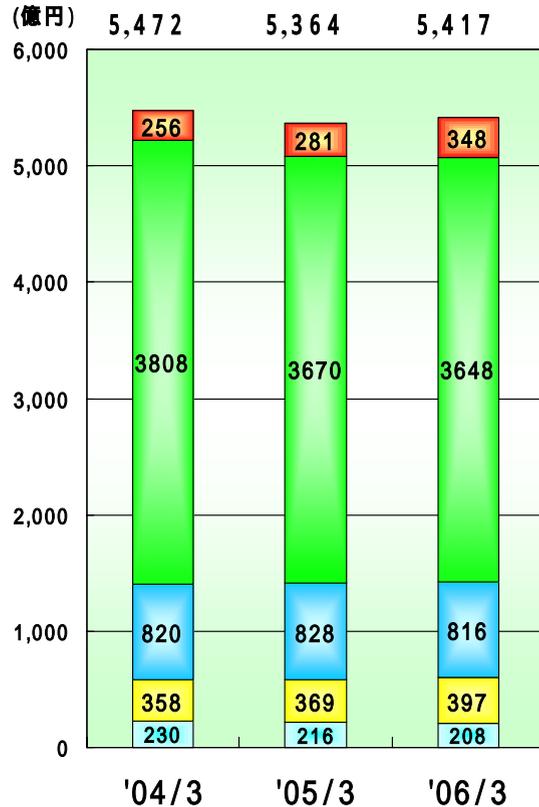
単位：億円

	売上高			営業利益		
	実績	前期	増減	実績	前期	増減
漁業・養殖ユニット	208	216	8	3	6	9
北米ユニット	397	369	28	33	13	20
水産商事ユニット	816	828	12	21	38	17
荷受ユニット	3,648	3,670	22	16	18	2
戦略販売ユニット	348	281	67	5	3	2
水産セグメント計	5,417	5,364	53	72	78	6
業務食品ユニット	587	629	42	5	10	5
市販食品ユニット	514	511	3	18	24	6
化成品ユニット	117	115	2	10	10	0
アジア・オセアニアユニット	285	266	19	10	12	2
食品セグメント計	1,503	1,521	18	43	56	13
保管・物流セグメント	153	150	3	22	16	6
その他事業	119	437	318	7	15	8
全社				37	31	6
合計	7,193	7,472	279	107	134	27

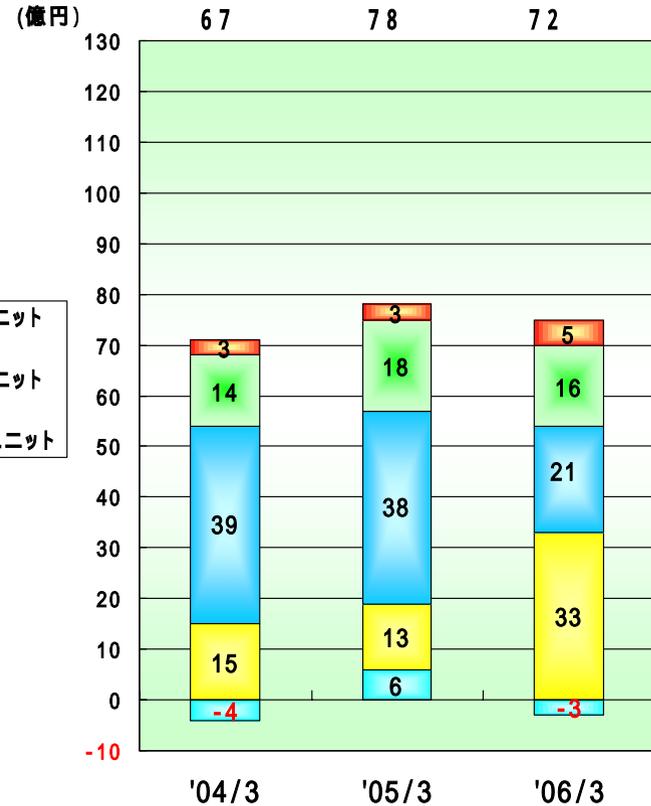


水産セグメント

売上高



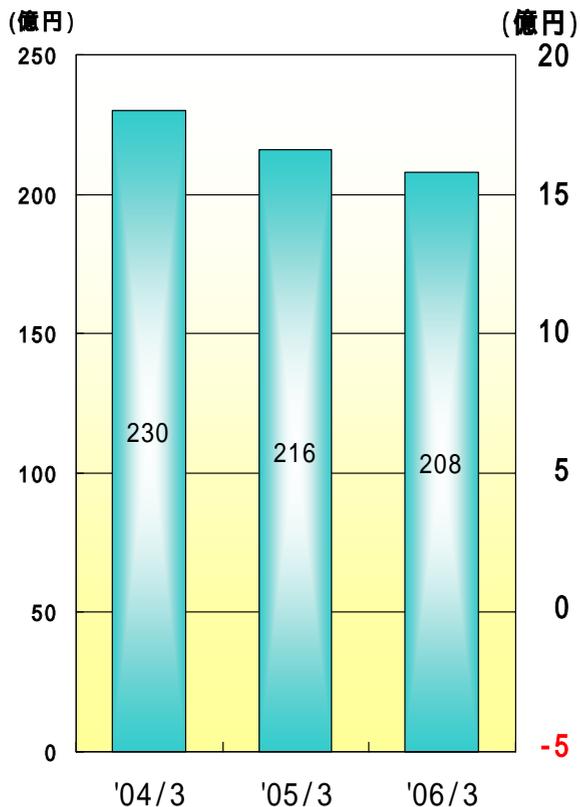
営業利益



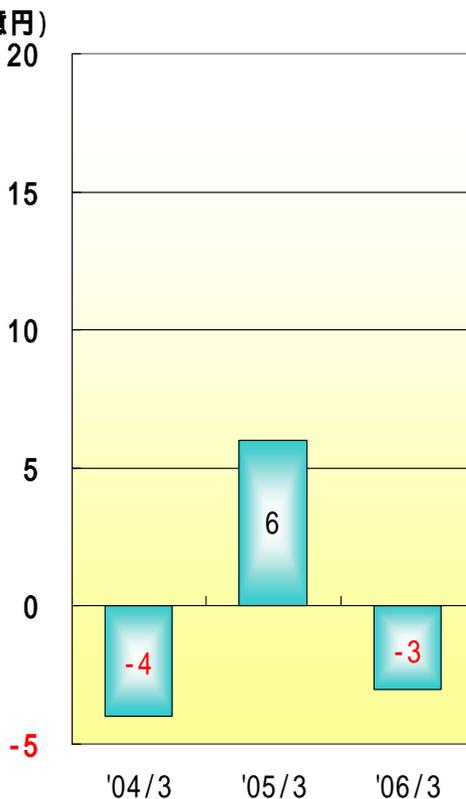


漁業・養殖ユニット

売上高



営業利益



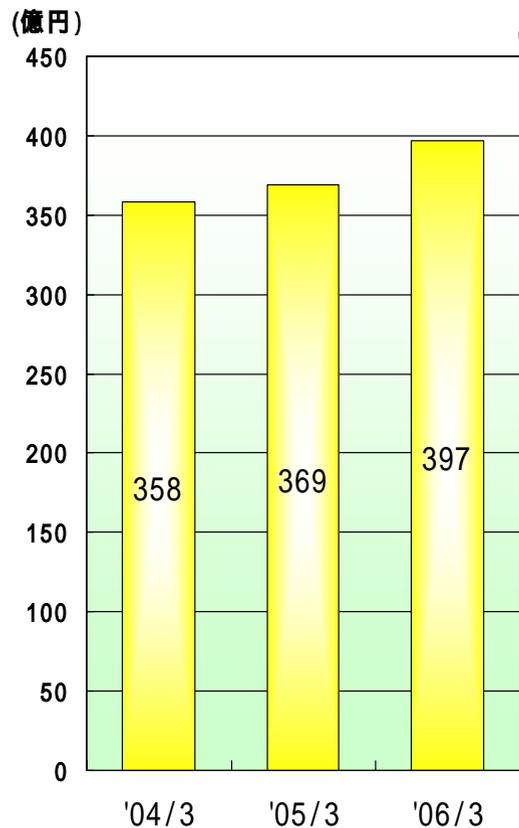
トピックス

1. 養殖魚(はまち・カンパチ)
市況低迷
2. 養殖クロマグロの出荷は
計画どおり
3. 海外合弁えび事業
漁獲不振
燃油高騰
欧州販売減

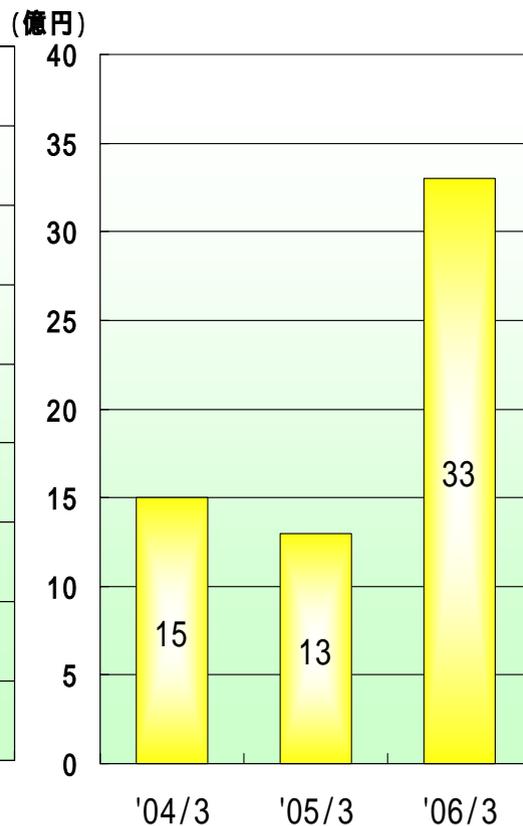


北米ユニット

売上高



営業利益



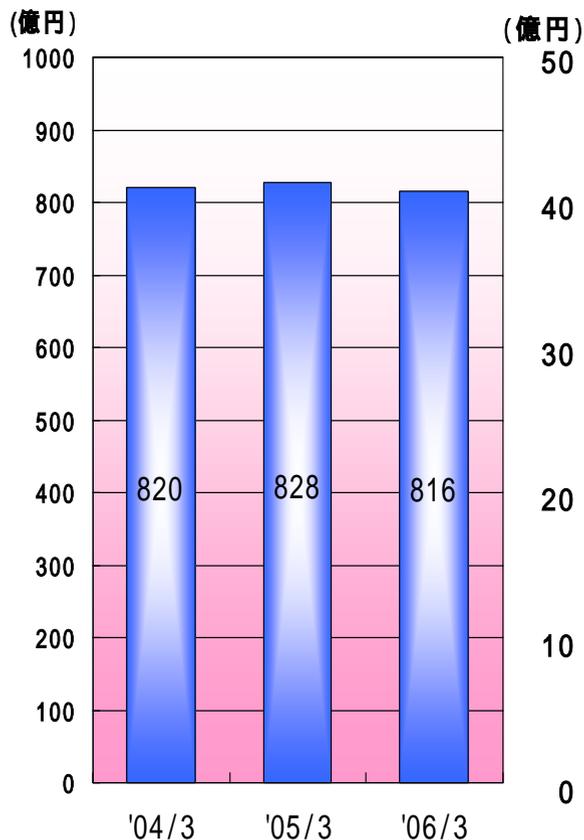
トピックス

1. すりみ・助宗フィレー
単価上昇により増収・増益
2. 魚卵の買付け数量減
3. フィレー生産ラインの増設
(市況変動への対応)

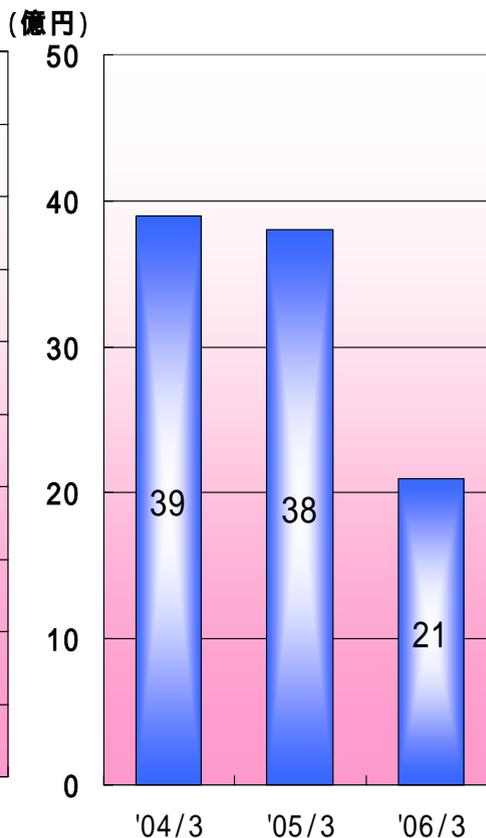


水産商事ユニット

売上高



営業利益



トピックス

1. えび・かに取り扱い減少
2. 北方魚・貝類の増収
3. 円安・燃油高騰による輸入コストのアップ

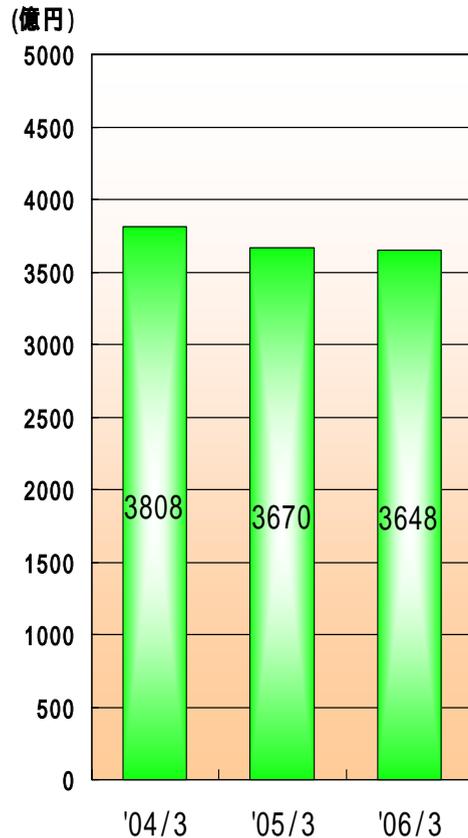
マルハの取扱数量及び魚価(参考)

	06/03	05/03	増減
数量 (千トン)	235	253	17
魚価 (円/Kg)	651	607	+ 44

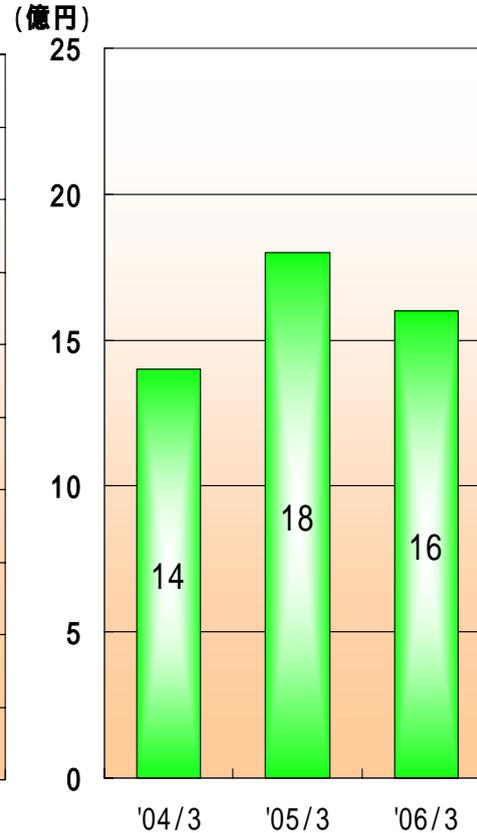


荷受ユニット

売上高



営業利益



トピックス

1. 取扱数量(千トン)・単価(円/Kg)

		06/03	05/03	増減
冷凍魚	数量	181	180	1
	単価	734	711	23
鮮魚	数量	185	192	7
	単価	783	786	3
塩干品	数量	112	116	4
	単価	743	710	33
合計	数量	478	489	11
	単価	755	740	15

2. 輸入冷凍魚 コストアップ

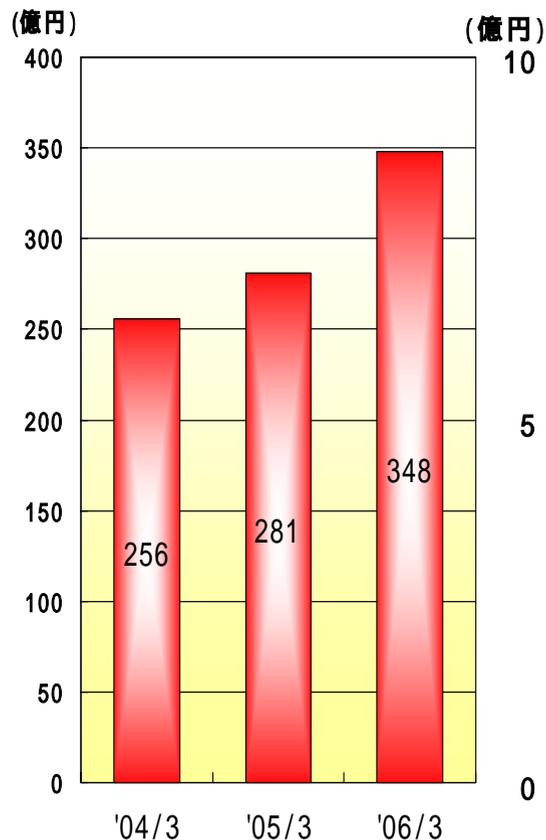
3. 鮮魚の価格低迷

4. 効率化・経費削減努力

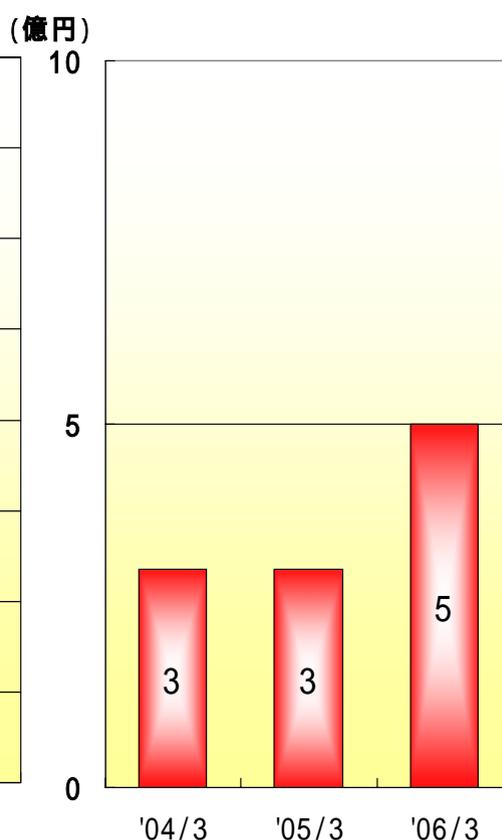


戦略販売ユニット

売上高



営業利益



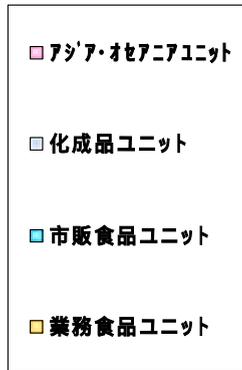
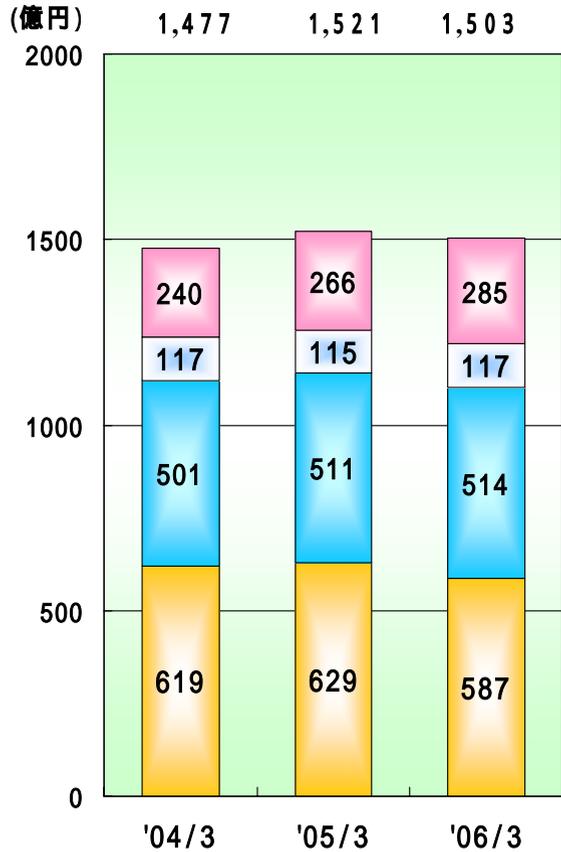
トピックス

1. 北州食品への資本参加
2. 積極的な販売による増収
3. 魚価上昇によるコスト増

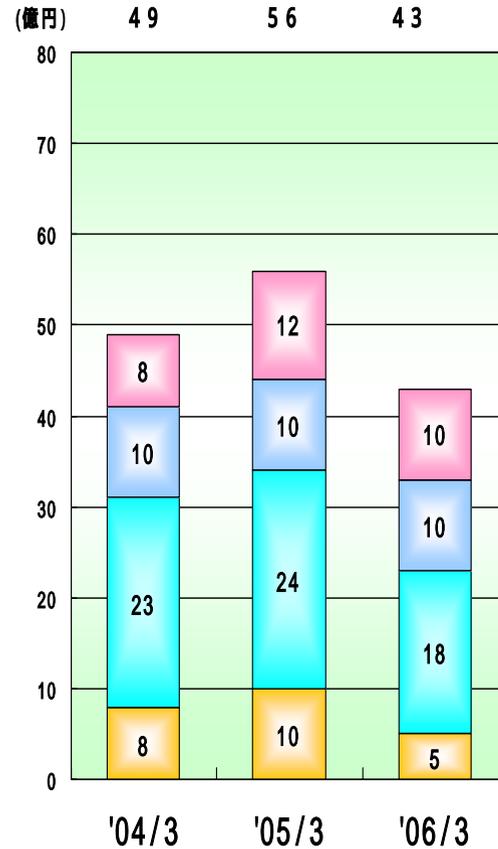


食品セグメント

売上高



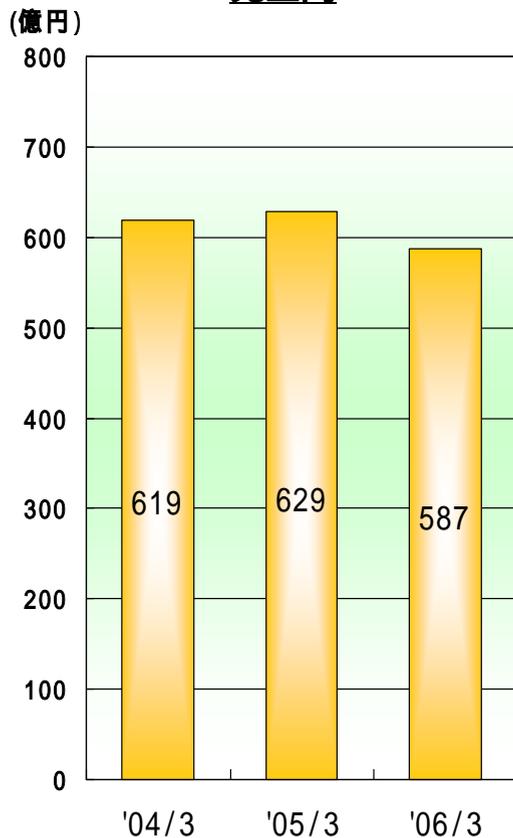
営業利益



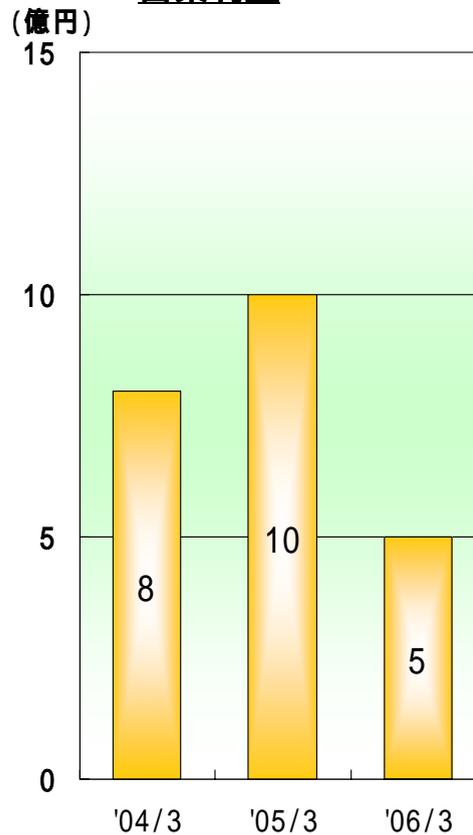


業務食品ユニット

売上高



営業利益



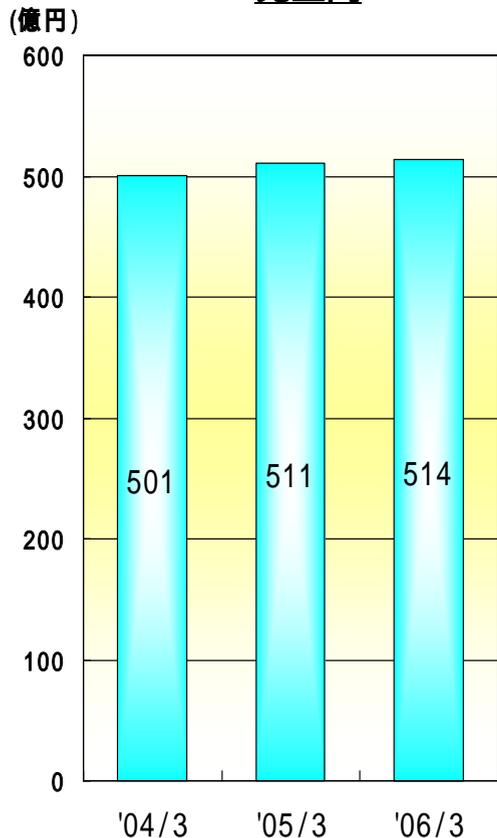
トピックス

1. 白身魚等の原料高によるコストアップ
2. 骨までおいしい魚販売ルート構築中
3. ペットフード代行業務終了

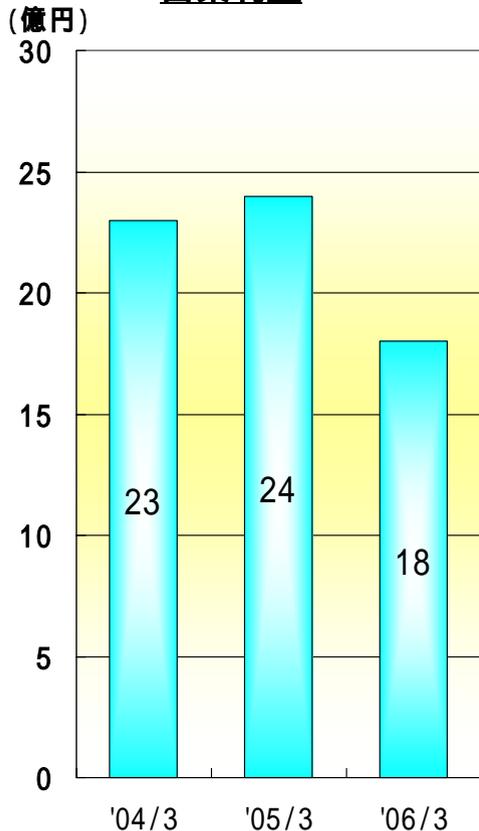


市販食品ユニット

売上高



営業利益

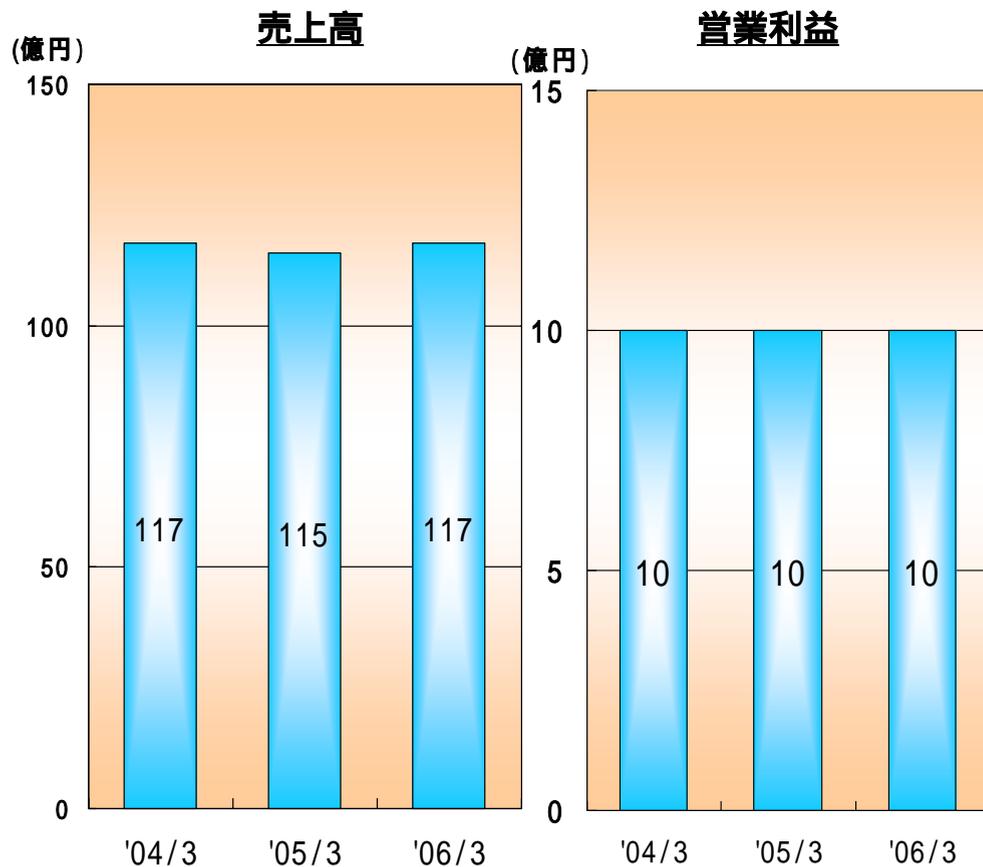


トピックス

1. カップゼリー販売増
下関工場着工
2. 特定保健用食品
リサーチソーセージ
新発売と広告宣伝費増
3. ちくわ原料(すりみ)高騰



化成品ユニット

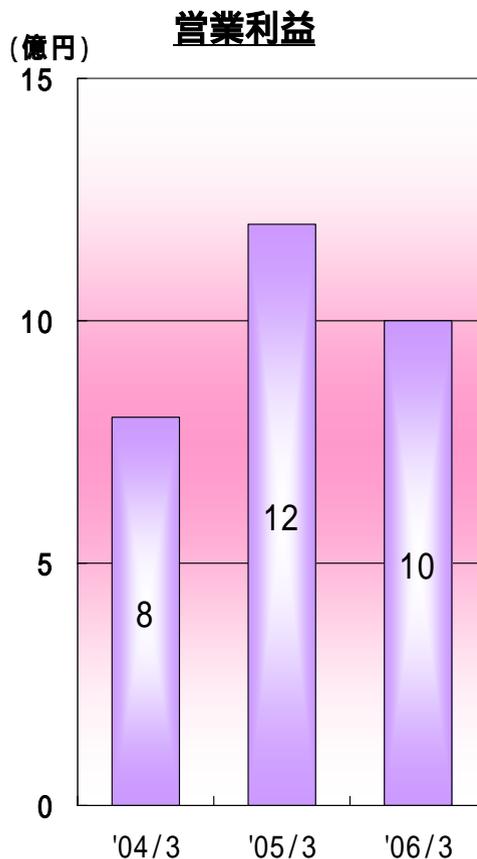
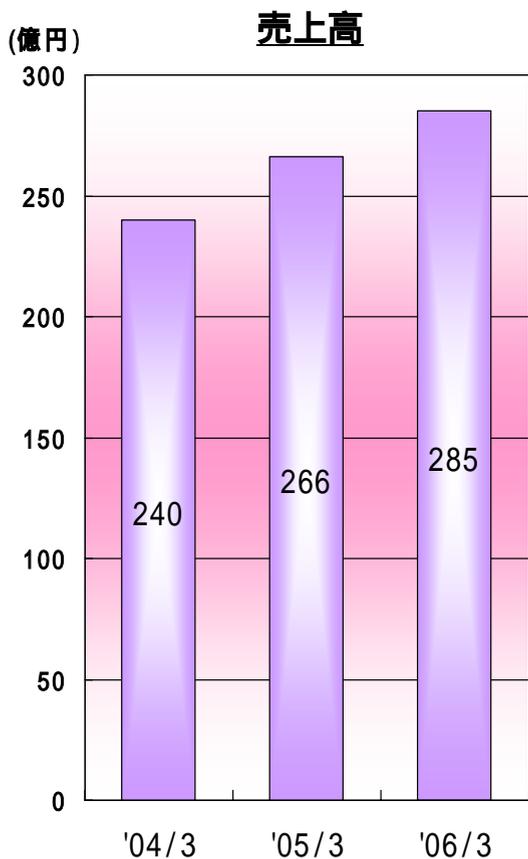


トピックス

1. コンドロイチン
ヒアルロン酸
DHA 好調
2. 乾燥食品 不振



アジア・オセアニアユニット



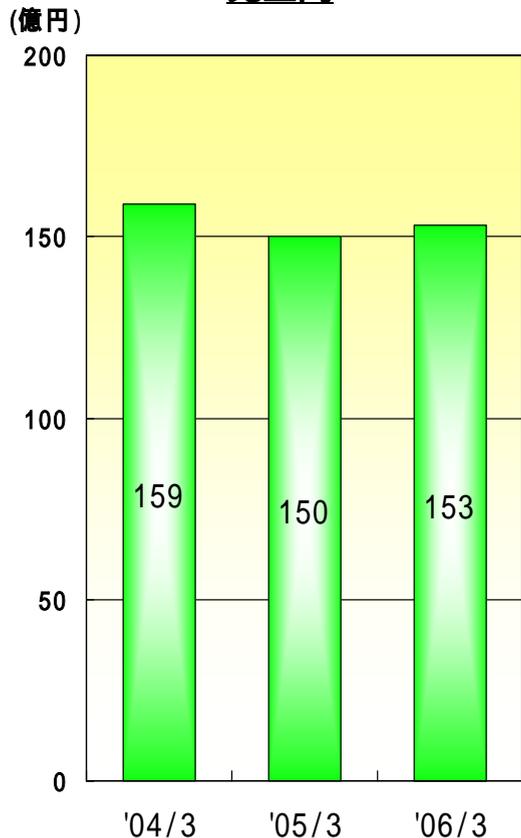
トピックス

1. 加工原料高騰のため
生産コスト上昇
2. 日本向け
うなぎ・わかめ取扱減少

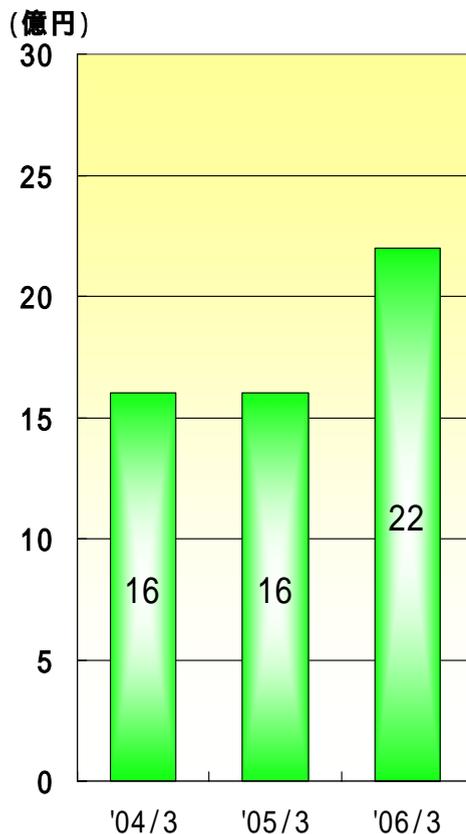


保管・物流セグメント

売上高



営業利益

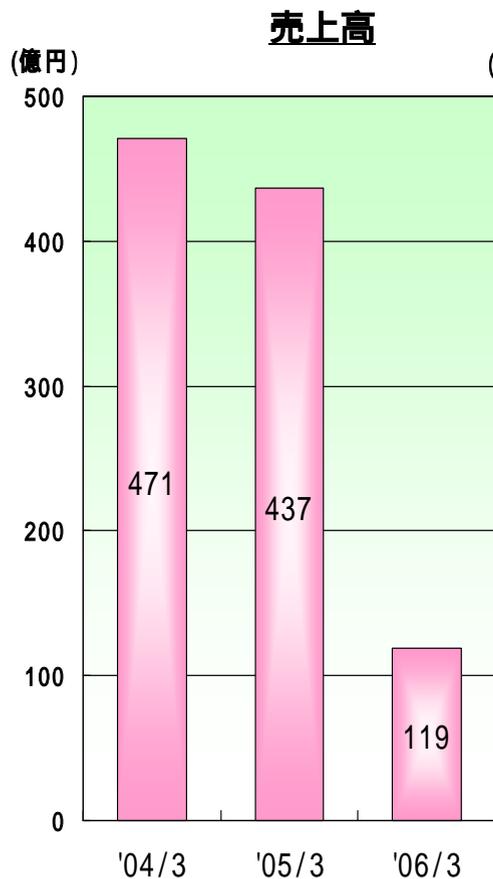


トピックス

1. 経営統合(7社)
マルハ物流ネット
新日本コールド
大洋冷凍
梅田冷蔵
中京冷蔵
八代冷凍
成田市場冷蔵
2. 保管需要増加により
増収・増益



その他事業



トピックス

砂糖事業・
不採算事業からの撤退

売上高 : 323億円

営業利益 : 8億円



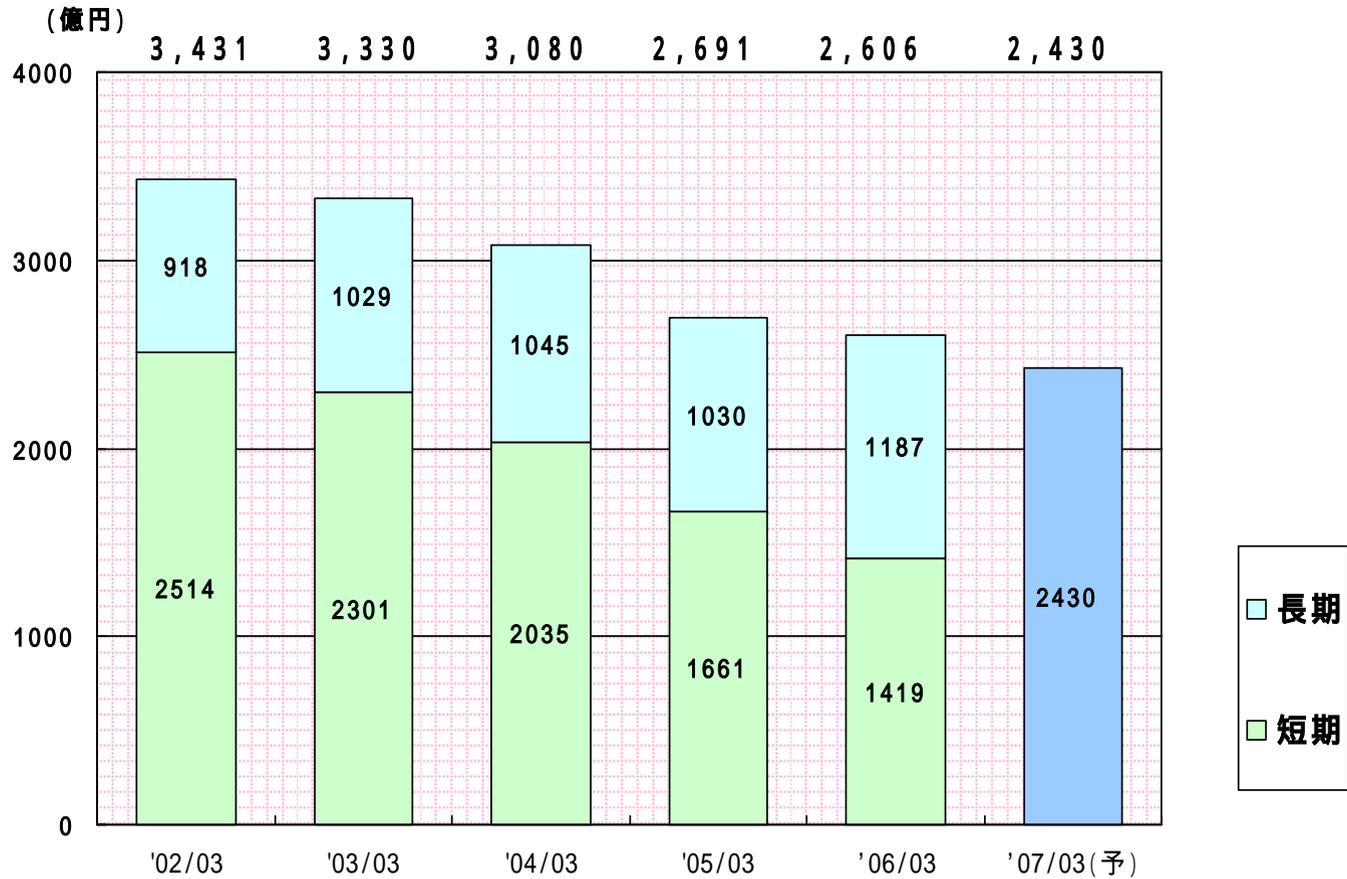
貸借対照表

単位：億円

	06年3月	05年3月	増減		06年3月	05年3月	増減
流動資産	1,928	1,906	22	流動負債	1,883	2,269	386
現預金	376	357	19	買入債務	267	296	29
売上債権	568	579	11	短期借入金	1,419	1,661	242
有価証券	22	34	12	その他	197	312	115
たな卸資産	784	753	31	固定負債	1,345	1,193	152
短期貸付金	15	15	0	長期借入金	1,187	1,030	157
繰延税金資産	44	30	14	その他	158	163	5
貸倒引当金	26	14	12				
その他	145	152	7	負債合計	3,228	3,461	233
固定資産	1,919	2,087	168	少数株主持分	155	147	8
有形固定資産	1,027	1,154	127				
無形固定資産	59	25	34	資本金	250	250	0
投資その他資産	833	908	75	剰余金	200	162	38
（内投資有価証券）	385	369	16	その他	16	24	40
（内長期貸付金）	212	594	382	自己株式	2	2	0
（内繰延税金資産）	66	126	60				
（内貸倒引当金）	152	396	244	資本合計	464	386	78
資産合計	3,847	3,993	146	負債・資本計	3,847	3,993	146



借入金の推移





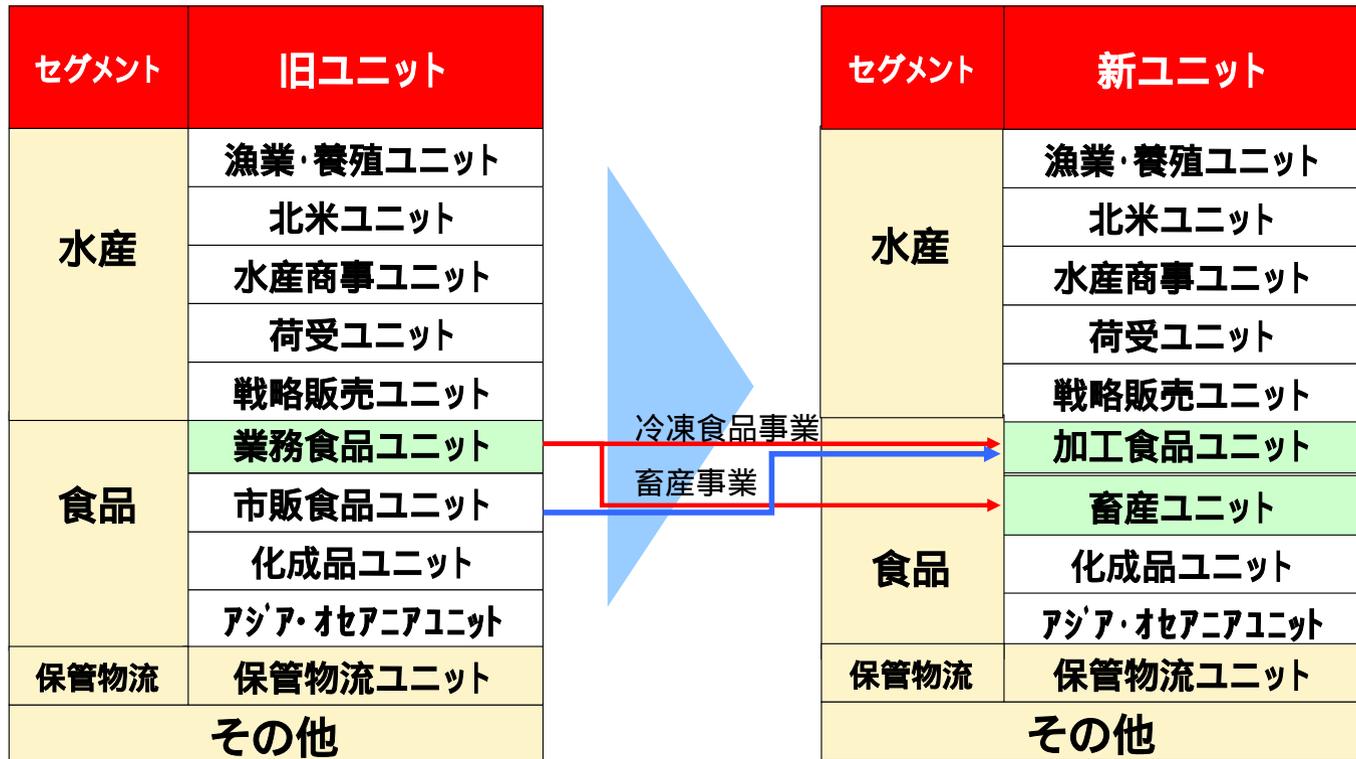
次期予想

	07年3月期	06年3月期比
売上高	7,500億円	104%
営業利益	195億円	183%
経常利益	165億円	137%
当期純利益	55億円	118%

06年3月期対比のポイント

1. 水産セグメントの増収(+93億円)・増益(+40億円)
2. 食品セグメントの増収(+217億円)・増益(+29億円)

各戦略セグメント・事業ユニットの整理・再編





新) セグメント・ユニット別損益

単位: 億円

	売 上 高				営 業 利 益			
	07/03 予 想	06/03 実 績	05/03 実 績	04/03 実 績	07/03 予 想	06/03 実 績	05/03 実 績	04/03 実 績
(1)漁業・養殖ユニット	240	208	216	230	12	3	6	4
(2)北米ユニット	430	397	369	358	28	33	13	15
(3)水産商事ユニット	820	816	828	820	40	21	38	39
(4)荷受ユニット	3,600	3,648	3,670	3,808	25	16	18	14
(5)戦略販売ユニット	420	348	281	256	7	5	3	3
水産セグメント計	5,510	5,417	5,364	5,472	112	72	78	67
(6)加工食品ユニット	980	777	771	753	36	19	30	27
(7)畜産ユニット	330	324	369	367	8	4	4	4
(8)化成品ユニット	120	117	115	117	12	10	10	10
(9)アジア・オセアニアユニット	290	285	266	240	16	10	12	8
食品セグメント計	1,720	1,503	1,521	1,477	72	43	56	49
(10)保管物流セグメント	150	153	150	159	20	22	16	16
(11)その他事業	120	119	437	471	10	7	15	17
(12)新規事業					18			
(13)全社					37	37	31	31
合 計	7,500	7,193	7,472	7,579	195	107	134	118



2006年3月期魚介類販売数量・単価(マル八株式会社実績)

(数量:トン、金額:百万円、単価:円/Kg)

	2006年3月期			2005年3月期			前年対比					
	数量	金額	単価	数量	金額	単価	数量		金額		単価	
							増減	率(%)	増減	率(%)	増減	率(%)
南方魚	13,718	7,246	528	16,685	8,035	482	2,967	82%	789	90%	46	110%
北方魚	30,918	12,779	413	32,481	11,253	346	1,563	95%	1,526	114%	67	119%
鮭・鱒	13,346	7,749	581	13,826	6,802	492	480	97%	947	114%	89	118%
魚卵	5,384	7,263	1,349	7,127	10,130	1,421	1,743	76%	2,867	72%	72	95%
鰹・鮪	30,931	14,265	461	33,664	12,398	368	2,733	92%	1,867	115%	93	125%
タコ・イカ	21,538	15,185	705	18,964	13,126	692	2,574	114%	2,059	116%	13	102%
エビ	39,320	42,937	1,092	42,714	46,256	1,083	3,394	92%	3,319	93%	9	101%
カニ	5,423	7,421	1,368	5,927	8,416	1,420	504	91%	995	88%	52	96%
貝類	9,304	13,229	1,422	10,506	12,798	1,218	1,202	89%	431	103%	204	117%
すり身	44,907	12,618	281	48,937	11,509	235	4,030	92%	1,109	110%	46	120%
その他	20,485	12,507	611	22,001	12,848	584	1,516	93%	341	97%	27	105%
合計	235,274	153,199	651	252,832	153,571	607	17,558	93%	372	100%	44	107%





当資料に記載されております計画や見通し、戦略など歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点で入手できる情報から得られた判断に基づいております。実際の業績は様々な重要要素により、これらの見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。また、本資料は著作権やその他本書類にかかる一切の権利は株式会社マルハグループ本社に属します

MARUHA

